

後期古墳を調査中！

平成30年度 新東名高速道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査

子易・中川原遺跡現場見学会



2号墳全景（南から）



子易・中川原遺跡 古墳全景（上から）

2号墳の調査で明らかになったこと

- ①子易地区の鈴川右岸で、古墳時代後期の古墳を確認しました。
- ②鈴川右岸で確認された古墳の中でも標高が最も高いところにあります。
- ③墳丘には上下2列に石が巡り、葺石と考えられます。
- ④葺石や周溝の形状から径20m前後の円墳と推定されます。
- ⑤墳頂部は削られています。確認できた墳丘の高さは周溝底から約2mあります。
- ⑥周溝の幅は2.5m前後で、7世紀前半頃の須恵器が出土しています。
- ⑦玄室内の長さは約5m、幅約1mです。
- ⑧石室床面は1号墳と同じ石敷きですが、1号墳と比べて小さな石が使われています。
- ⑨古墳の入り口を複数の石で塞いでいた事を確認しました。

およその年代

3500年前 1500年前 2500年前 1700年前 1300年前 800年前 400年前 150年前

旧石器時代

縄文時代

弥生時代

古墳時代

古代

中世

近世

今回の調査で発見された遺構・遺物のおおよその時期を示しています。

主催：公益財団法人かながわ考古学財団

共催：伊勢原市教育委員会



地域の特色ある
埋蔵文化財活用事業



新東名高速道路建設に伴う
埋蔵文化財発掘調査

伊勢原市子易・中川原遺跡
2019年2月3日

公益財団法人かながわ考古学財団
〒232-0033 神奈川県横浜市南区中村町 3-191-1
Tel : 045-252-8689(代) URL : <http://www.kaf.or.jp>

伊勢原市街地を一望できる大山山麓の鈴川右岸（段丘面）において、古墳2基を発見しました。これらのうち1号墳は、大変めずらしい墳丘構造を持つ古墳として昨年10月にご覧いただきました。今回公開する2号墳は、10月にはまだ調査中であつた箇所になります。

これまでの調査で石室が良好に残り、周溝・葺石が巡っていることが確認でき、古墳の構造が一体的に確認できたことが大きな成果です。

大山山麓に造られた貴重な古墳の調査事例として注目されます。